



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30
幹 事 浅 井 晃

会 長 中 谷 佳 正
会報委員長 宮 田 正 人



ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーは世界をつなぐ

2019-2020年度国際ロータリー会長 マーク・ダニエル・マローニー

R I 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2456

2020-6-19

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
https://osakajonan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

6月19日(第3例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

●卓話 「一年を振り返って」

内藤喬皓副会長

●クラブ協議会

●臨時総会 例会終了後

次週のお知らせ

6月26日(第4例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間

●退任挨拶

中谷 佳正会長
浅井 晃幹事
三宅善太郎 SAA
岩永 建保会計

●食膳 <日本料理 和定食>

次々週のお知らせ

7月3日(第1例会)

●例会場

シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●就任挨拶

村上 泰啓会長
小原 一眞幹事
南賀 勝之SAA
三木 敏裕会計

●先週の記録

6月12日(第2例会)

出席会員 33 名 (内免除会員 9 名)

会員総数 44 名 (同上 15 名)

ゲスト 1 名

ビジター 0 名

計 34 名

ホームクラブ出席率89.12%

2月21日(第3例会)補正出席率100%(MU1名)

●ゲスト&ビジター (敬称略)

青野縣一(浅井会員友人)

◆会長の時間◆

皆様、こんにちは。

2月28日の例会を最後に3ヶ月間にわたって例会を休会して参りましたが、その間の本年度事業に関する報告をさせていただきます。

1. 本年度のメイン事業と考えておりました「春のRYLA」は、皆様もご存知のように中止となってしまいました。梅崎委員長はじめ委員の皆様には地区への出向を含め、早い段階から準備して頂きありがとうございました。さあこれからという時に中止が決まり残念でしたが、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

2. iPS細胞研究支援の寄付に関しましては研究所の方に出席して頂き、講演の後、贈呈式を行う予定でしたが、今年度中に寄付手続きを行い講演は次年度で行います。

3. 会員増強ですが、現在4名の方に入会候補者として待機して頂いております。本年度中に、皆様の承認を頂き、次年度の早い時期で入会式を行って頂く予定です。

4. 臨時週報でも掲載しておりましたが、地区から新型コロナウイルス感染症拡大防止のための特別プロジェクト「友愛」への協力要請が来しました。医療用防護服等の医療用品を各クラブと地区の共同奉仕活動として最も必要とするところにピンポイントで届けるというのが、プロジェクトの主旨です。これらの調達には総額約2,000万円の費用が必要ですが、各クラブからの拠出金と地区特別会計の災害支援積立金及び財団補助金などを合わせて負担することになっています。当クラブからも20万円を拠出して協力させて頂きました。

5. ロータリー財団と米山奨学会への寄付のお願いです。山口委員長より個々にお問い合わせされていると思いますが目標まであとわずか、で苦戦しております。6月19日次週で今年度分の締め切りとなりますのでご協力よろしくをお願いします。

最後に、佐伯会員が3月26日にご逝去されました。今年度は入院・自宅療養を繰り返されていましたが、元気で大きな声と、にこやかな笑顔で、例会場のムードメーカーであったように思います。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ロータリー親睦活動月間

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 幹 事 報 告 ◆

今月のロータリーレートは、1\$ = ¥108です。

長らくのコロナ休会のため理事会もありませんでした。直近は、5月29日に開催致しました5月度理事会の決定を受けて、本日より例会は復旧致しました。

5月度理事会にて承認を頂きました重要事項について説明致します。

《例会欠席について》

健康状態など少しでも不安がある場合の出席はご遠慮願う事とし、この2020年6月に限っての特例として、欠席されても欠席扱いとせずホームクラブ連続皆出席にも抵触しないものと致します。

《iPS細胞研究所への寄付について》

卓話はiPS細胞研究所の日程調整が付かず、年度内には不可能なので、今後iPS細胞研究所と調整の上で、卓話と感謝状贈呈を新年度プログラムに組み入れる。寄付の¥1,000,000は年度内に振込済み。

《次年度の予算について》

地区の行事の中止 2019-2020春のRYLAセミナーの中止について
清算の上、費用の次年度への繰り越し分は、地区へ返金する。

《プログラム変更について》

本日を含めて今年度残りの例会のプログラムは大幅に変更致しました。

12日 本日は、例会時間短縮のため卓話は省略します。

19日 3階 志摩の間

副会長卓話に引き続きクラブ協議会 臨時総会

26日 4階 浪速の間

卓話：退任の挨拶(会長・幹事・SAA・会計)

例会に先立って、本日11:30から開催されました、6月度新旧合同理事会に於いて、承認を頂きました重要事項について説明致します。

《例会休会に伴う食事会計残高の処理について》

6月末現在の会員に個々に還付する事で、理事会決定致しました。

◆ 委 員 会 報 告 ◆

村上(泰)会長エレクト

次年度各委員長に事業計画を配布しております。
チェックの上、事務所に提出してください。

国際ロータリー会長コロナ報告

2019-2020年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー氏
2020-21年度国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク氏

拝啓

新型コロナウイルス(COVID-19)の流行が続く現在、皆様とご家族がお元気で過ごされていることを願っております。ロータリーは引き続き、皆様の健康と安全を最優先しています。

新型コロナウイルスにより、私たちの生活、仕事、そしてロータリー活動の多くの面で支障が生じております。しかし、そのような中でも新しい方法で状況に適応し、成長を遂げ、つながりを築き、インパクトと積極的参加を高める機会があります。

今こそ「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを実践するときであり、世界はかつてないほどにロータリーを必要としています。新型コロナウイルスの影響は国や地域によって異なりますが、つながりと参加を維持する上での困難に直面しているクラブは確かに存在します。だからこそ、皆様一人ひとりに今後数週間、そのようなクラブがあれば連絡を取り、危機的状況について話を聞き、参加とつながりを保てるようにするための特別なご支援をして頂くよう、ここをお願いする次第です。

既に世界中の多くの地区がそれを実行しており、心から感謝しております。また、クラブや地区が画期的な方法で新型コロナ流行に対応し、クラブ・地区間、そして地域社会でのつながりを築いていることを強く誇りに感じております。以下に心を打たれる活動のいくつかをご紹介します。

- ・第2483地区(セルビア、モンテネグロ)では、すべてのロータリークラブとローターアクトクラブがオンライン例会を行えるよう、セルビア・ロータリーEクラブが詳しい手引きの作成を援助しました。また、同地区は著名な講演者を招いたオンライン例会を毎週開き、どのクラブでも出席できるようにしています。
- ・新型コロナウイルスが流行し始めた頃、第5320地区(米国カリフォルニア南部)のガバナーは、十分な対応が地区内クラブによって行われていないと判断し、エッセンシャルワーカー(生活維持に必要な仕事をする人たち)に防護マスクを提供する取り組みを実施し、クラブの参加を促しました。これによって支援金14万ドルがクラブから寄せられ、マスク60,000個を寄贈できました。
- ・ルサカ・イースト・ロータリークラブ(ザンビア)は、初となるオンライン入会式を催し、地区内の多くのクラブが出席する素晴らしい式典とすることができました。
- ・パリ・ウエスト・ローターアクトクラブ(フランス)は、さまざまな国のレシピで料理を行う催しを毎週開き、それを1冊の料理本にまとめました。
- ・第2660地区(日本)は、地区の全会員のためにオンラインの「友愛の家」を立ち上げました。これにより、地区リーダーからのコミュニケーションを毎週発信し、クラブ例会に役立つ資料を提供し、クラブ役員・会員同士のメッセージ交換を促し、新型コロナ関連の奉仕プロジェクトを紹介することができます。

<https://www.ri2660.gr.jp/yuai/>

- ・植樹1万本という年度目標を立てたカカアコ・エコ・ロータリークラブ(米国ハワイ州)は、新型コロナの影響下でも活動を断念せず、斬新な方法を取り入れ、より一層の力を入れて目標達成に取り組んでいます。

会員増強にご協力を!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

- ・第9211地区(ウガンダおよびタンザニア)では、研修担当チームが「やればできる」という姿勢を貫き、800人以上が参加する充実したオンライン研修を開催することができました。
- ・シンガポール・ロータリークラブは、伝染病学者や感染症専門家が新型コロナ流行に関する質問や懸念に回答するためのウェビナーを実施しました。
- ・第9685地区(オーストラリア)のガバナー補佐は、地区内全クラブと連絡を取り、オンライン例会に消極的なクラブが近隣クラブのオンライン例会に合流することを奨励しています。
- ・イタリア国内13地区のロータリークラブとローターアクトクラブは、世界をつなぎ、変化をもたらす模範的な活動に取り組んでいます。複数国から何百人もの人が参加し、専門家が新型コロナ関連の質問に回答するオンライン会合の開催や、医師であるロータリアンやその他の医師が人びとの相談に乗るコールセンターの設置など、総額1,100万ユーロ(約13億円)の価値がある活動を展開しています。

これらの素晴らしい活動が実施されている一方で、現在も、先行きが見えない不安定な状況に置かれているクラブがあります。このため、ロータリーコーディネーターには皆様や地区チームと協力をお願いしています。各地において適切かつ一貫した方法でクラブのニーズに応えることができるよう、皆様にもロータリーコーディネーターとの密な協力をお願い致します。また、RIクラブ・地区支援室と連絡をお取りになっている地区もあるかと思いますが、同担当室の職員は今後も力強いリソースとして、アイデア、ベストプラクティス、研修、ツールを地区に提供していきます。地区チーム、地域リーダー、ロータリー職員と協力して、困難に直面しているクラブへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

困難なときにあっても、「ロータリーは機会の扉を開く」ことができます。地区内で取り残されるクラブや、活動や例会を全く行うことができないクラブがないよう、引き続きガバナー補佐、地区会員増強委員長、その他の地区リーダーと協力してください。皆様は、ロータリーのリーダーとして職業に徹し、地域社会、クラブ、地区にインスピレーションを与えることが求められています。皆様がこれにに応じて頂くことにより、ロータリーは現在の危機的状況乗り越え、回復への道を照らし、いかなる未来においても力強く歩み続けていくことができるでしょう。

末筆となりますが、皆様のご健康と益々のご成功をお祈り申し上げます。

敬具

にここ箱

6月12日(第2例会)

- ・コロナに負けずに頑張ってます。感謝。
光信会員
- ・お久しぶりです。お陰様で年なりに元気になっております。
岡倉会員
- ・1日でも早いコロナ禍の終息を願います。
中谷会員



▲3月誕生日 三木、平田 各会員



▲4月誕生日 濱田会員



▲5月誕生日 松田、村上(泰)、西村、山本(智) 各会員



▲3月結婚記念日 宮田、光信、尾崎(敬)、宮永、三宅、野村 各会員



▲4月結婚記念日 村上(武)、浅井、山本(智) 各会員



▲5月結婚記念日 濱田、内藤、中尾 各会員



▲6月結婚記念日 梅崎、平田 各会員

(編集担当 田中・泉)

会員増強にご協力を!!